

秋のセミナー 11月27日(日) 於:静岡県評会議室

倒産・非正規・無年金・生計費

河合利夫氏「(株)シノハラ不当解雇撤回闘争」

河合氏は(株)シノハラの民事再生法の申請から会社の破産までの闘いと、会社の破産後、管財人との交渉について、説明しました。これまで労働組合として、生産性の向上の提案や、非正規労働者の労働条件向上に取り組んできたけれど、経営者の甘さと金融システムのパンクが破産の要因となったことが紹介されました。今後、建交労静岡地域支部「篠原ユニオン」として再出発することになりました。

鍋田敏子氏「AIG スター生命嘱託職員解雇争議の解決と金融機関の非正規雇用の実態」

鍋田氏は契約期間満了で雇い止めとなった嘱託職員の争議を、団体交渉と労働運動で解決した経過を紹介しました。争議の影響として、嘱託職員の契約期間が延長されたこと、その後の解雇者を出していないことが指摘されました。また金融機関において、雇用形態の違いが身分制度のように差別意識を生み、労働者が分断されていることが、問題点として提起されました。

磯野博氏「雇用の不安定化・流動化と無年金障害者問題～「年金110番」相談活動をとおして～」

磯野氏は全国で約12万人の無年金障害者の存在と、国民年金の保険料滞納者330万人が無年金障害者の予備軍の可能性のあることを報告しました。ドキュメンタリ番組「年金不信」の事例も使って、障害年金を受給できない実態を紹介しました。問題点として、障害年金を受ける給付要件が大きな壁になっていることが指摘されました。

多田義幸氏「静岡県と電機連合の最低生計費試算比較」

多田氏は静岡県と電機連合の生計費試算を比較し、両者が近似した結果となったことを報告しました。静岡県の最低賃金(728円/時)では、夫婦がフルタイムで働いても単身者の最低生計費に届かない異常な低さであること、製造派遣の賃金では、夫婦がフルタイムで働いても子育ての費用を捻出することができないことが指摘されました。

浜松支所 第41回 所員会議 11月24日(木) 於:西部地区労連

労働時間の個別調査アンケートを検討

最初に、中安氏の論文「内部留保の活用について」に対し、再度の質問と討論が行われ、内容を見直した上で、次回の静岡労研の所報に掲載することを確認しました。

その後、来年から取り組む労働時間のアンケート調査について、提起されたアンケート項目の内容について、意見交換しました。

【今後の日程】

12月16日(金) 18:30~20:30
定例研究会 於:県評会議室
12月21日(水) 18:30~
第48回理事会 於:県評会議室
12月22日(木) 18:00
浜松支所所員会議 於:浜松市内

*連絡先: ☎422-8062 静岡市駿河区稲川2-2-1 コハラサウスサイドビル7F

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>